Panasonic®

施工説明書
取扱説明書
保管用

ダブル Wエコ

環境配慮型照明器具
非常用照明器具（電池内蔵型）
品 番 FSG62000

（一般屋内用）　・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

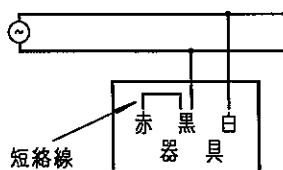
安全に関するご注意

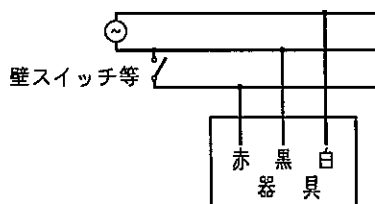
⚠警告

●施工は、施工説明にしたがい確実に行なう。　施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
●器具を改造しない。　感電・火災・落下の原因となります。
●表示された電源電圧（定格電圧±６％）・周波数で使用する。
　指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。
●蓄電池を短絡・分解等しない。　破裂・火傷・感電・火災の原因となります。

⚠注意

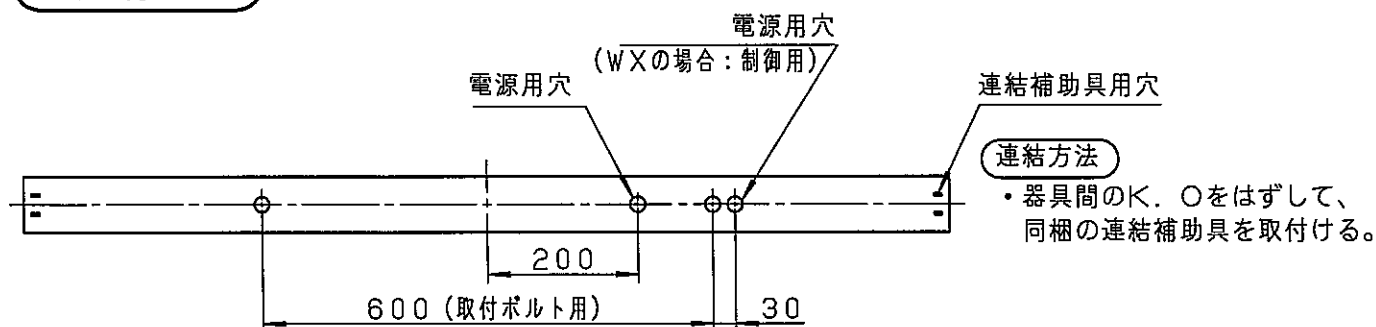
●この器具は一般屋内専用です。雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、
　腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
●外の風が直接当たる場所では使用しないでください。落下・破損の原因となります。
●周囲温度は、５～３５℃以外では使用しないでください。
　蓄電池の劣化，ちらつき、短寿命及び非常点灯しない原因となります。
●この器具の電源は、専用回路にしてください。
●非常用照明器具としてご使用される場合は、次のように配線してください。

配線種類　・２線式（連続点灯する場合）

※短絡線は器具端子台に接続されています。

・３線式（壁スイッチ等で点滅操作する場合）

※器具端子台の短絡線を取り外して配線してください。
※壁スイッチは、赤線回路に設けてください。
※壁スイッチで消灯しても電池への充電は行われています。

●電源を通電せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。

器具背面図

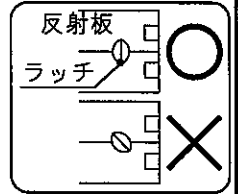
（連結方法）
・器具間のK．Oをはずして、
　同梱の連結補助具を取付ける。

各部のなまえと取付方法

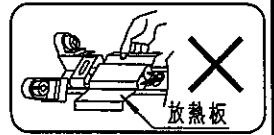
⚠警告

施工は、施工説明書にしたがい確実に行なう。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

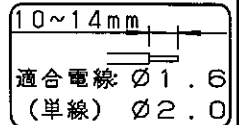
断熱材・防音材等のある天井では必ず右図の様に天井裏に放熱スペースと放熱穴を設けてから取付を行ってください。

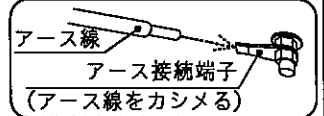
1 取付前の確認
- 器具質量（3.4kg）に十分に耐えるよう、取付ボルト取付部の強度を確保する。
  （取付ボルトは、W3／8又はM10を使用する。）
  不備があると器具落下の原因となります。
- ラッチが曲がっていないか確認する。

反射板 ラッチ ○ ×

2 本体の取付
- 電源線、アース線、制御線を本体の電源穴から引き込んでおく。
  電源ブッシングがついていない電源穴を使用する場合は、必ず電源ブッシングを付替えてください。
- 本体を取付ボルトに確実に取付ける。
  注）本体取扱時、放熱板を持たないでください。
  放熱板変形の原因となります。

放熱板 ×

3 電源線の接続
- 電源線を確実に差し込む。
- D種（第3種）接地工事が必要。
- 端子台の容量は、20Aです。
- この器具は、器具内送り配線が可能です。
  送り配線される場合は、器具同梱の電源ブッシング等でエンド部通線箇所の保護を行なってください。

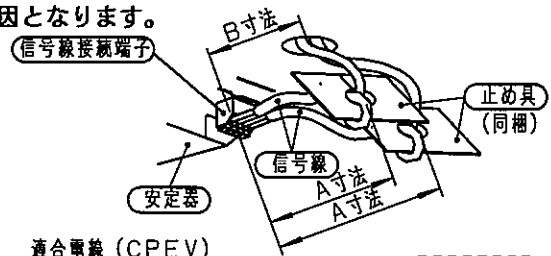
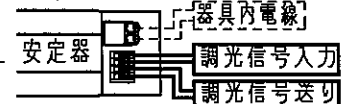
（調光器具の場合）
4芯ケーブル使用の場合、器具内送りできません。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

10~14mm
適合電線 Ø1.6
（単線） Ø2.0

4 アース線の接続
- アース線をアース接続端子に確実にカシメる。

アース線 アース接続端子 （アース線をカシメる）

接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

5 信号線の接続（調光器具の場合）
- 信号線を同梱の止め具に通す。
  （止め具が2個分一体になっている場合は、分断してご使用ください。）
- 止め具を一周させもう一度信号線を止め具に通す。
  （A寸法がB寸法より長くなる様に調整する。）
  不備があると信号線接続端子破損の原因となります。
- 信号線を安定器の信号線接続端子差込穴に確実に差し込む。
  - 安定器の表示ラベルに合わせる。
  - 信号線に極性はありません。
  - 信号線接続端子の容量は2Aです。

接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

適合電線（CPEV）
Ø0.9・Ø1.2
7~9mm
安定器 器具内電線 調光信号入力 調光信号送り

- 信号線、止め具が本体から飛び出さないように収納する。
  不備があると反射板変形の原因となります。
- 送り配線される場合は2ヶの止め具を使用し、それぞれの張力止めを行う。

6 コネクタの接続
- 常用電源通電後、コネクタを接続する。
- 方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
  接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

7 反射板の取付
- モニターランプと反射板の穴の位置を合わせる。
- 点検スイッチを穴に通す。
- ラッチを90°回転して、確実に反射板を取付ける。

ラッチ 90°回転

取付が不完全な場合、反射板落下の原因となります。

8 ランプを確実に取付ける
- ランプをソケットにセットしてから、90°回転させる。

9 点灯確認
- 電源通電状態で、ランプ及びモニターランプが点灯するか確認する。
- 点検スイッチを引き、非常点灯を確認する。
  （充電モニターは消灯します）

正常に動作しない場合は「故障かな？と思ったときは」の項を参照してください。

取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

⚠注意

●アルカリ系洗剤は使用しない。　強度低下による破損の原因となります。
●蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。　破裂する危険があります。
●蓄電池は絶対に分解しないでください。　火傷、感電の原因となります。　電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
●蓄電池のショートは絶対にさけてください。　破裂、火傷、感電、火災の原因となります。
●照明器具には寿命があります。（※1）
　法令に基づいて定期的に点検を実施してください。
　点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●長時間器具を使用しないときは、蓄電池は外してください。　蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
　必要な場合は弊社営業所へお申し出ください。（チェックシート番号：CLX2021BA）
　点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

※1　照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は4～6年です。
　　使用条件は、周囲温度30℃、1日10時間点灯です。

使用上のご注意

・この器具は自動初期照度補正機能付照明器具です。定格出力の約73％の光束を保つように設計されています。
・電源投入から数秒後に調光状態（初期照度補正状態）となります。
　始動時の数秒間は明るさが異なりますが異常ではありません。
・2灯用器具の場合、1本のみの交換では適正な明るさが得られません。
・ランプや安定器のバラツキ、経年変化等により輝度差、色ムラが若干目立つことがありますが異常ではありません。
・ランプや器具の汚れについては補正しませんので、定期的な清掃をおすすめします。

累積点灯時間のリセットについて

この器具は累積点灯時間を記憶しながら、点灯時間に応じた光束減退特性に基づいて、
照度補正を行っています。従って、新しいランプに交換される際、
累積点灯時間をリセットする（累積点灯時間の記憶値をゼロにする）必要があります。

ランプ寿命となった場合（自動リセットについて）

　この器具には、ランプ寿命を判断する機能が付いていますので、新しいランプへの交換と同時に
　自動的に累積点灯時間をリセットします。後述の手動リセットは不要です。

ランプ破損時、寿命以外で交換する場合（手動リセットについて）

＜器具1台のみリセットする場合＞
　1）電源OFF、古いランプを取外し
　2）ランプ取外し状態で、次の動作を3回繰り返し

電源ON（1秒間）⇒OFF（1秒間）

　3）新しいランプを取付け、電源ON

＜同一電源回路の器具と一斉にリセットする場合＞
　1）電源OFF、全ての器具を新しいランプへ交換
　2）ランプ装着状態で、次の動作を6回繰り返し

電源ON（1秒間）⇒OFF（1秒間）

　3）電源ON

手動によるリセット操作が正しく行われていれば、ランプ取り付け後の電源ON10秒後に調光開始します。

・停電等による電源遮断時も累積点灯時間は保持されますので、自動初期照度補正機能は電源再投入後も正しく動作します。
・周囲温度が約5℃～約10℃で使用される場合、
　始動時に移動縞が発生することがありますが、数秒～数十秒で解消します。
・調光機器などとの組合せはできません。
・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
　雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・照明器具2台以下で、ほたるスイッチと組合わせて使用する場合、
　手動リセットが動作しない場合がありますので、スイッチは2箇所までとしてください。

●WX方式の場合
・5～15℃程度で調光時に移動縞がでる場合がありますが、5分以内に解消します。
・光出力比（％）と目で感じる明るさ感には相違があります。また、光出力比は室温、器具形態により異なり、
　室温が高くなるほど照明器具の調光範囲は狭くなります。
・この器具は初期照度補正機能が入っており、ライトコントローラのつまみで調光できる範囲が狭くなります。
　つまみの上下限域では操作しても明るさは変わりません。
・ランプが点滅する場合は、ランプ寿命をあらわしています。

お手入れ・部品交換

・器具の清掃について－－－－・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
　　シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
　　変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
・ランプ交換について－－－－・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
　　（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください。）

交換部品	蛍光ランプ	蓄電池
	FHF63EN-G	FK748（7.2V3000mAh）

・蓄電池交換方法－－－－－－・下図を参照のうえ確実におこなってください。

⚠注意

●感電のおそれあり
　ランプ交換時は、必ず電源を切ってください
●やけどのおそれあり
　点灯中や消灯直後はランプやその周辺をさわらないこと

1　ランプをはずす。
2　反射笠をはずす。
3　蓄電池を交換する。
　・蓄電池コネクタを抜く。
　・蝶ナットと電池ホルダーをはずし、蓄電池を交換する。
4　蓄電池を取付ける。
　・はずした手順と逆の手順で確実に取付ける。
　・リード線を電池の横に収納する。
　　電池ホルダーでリード線を傷つけないこと。
　　感電・火災の原因となります。
　・蓄電池コネクタは確実に差し込む。
　　接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。
5　反射笠、ランプを取付ける。　・はずした手順と逆の手順で確実に取付ける。

保証について

- 保証について――― この商品の保証期間は１年間です。但し、安定器は３年間です。
  ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について―― 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品――の保有期間 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。
  補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

◆定期点検　・３ケ月に１回は、破損、変形などの外観の点検をお薦めします。
・６ケ月に１回は、外観点検と機能点検を併せて行って下さい。
（点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。）

◆設置年月日　　年　　月　　日　◆取付場所　　◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな？と思った時は

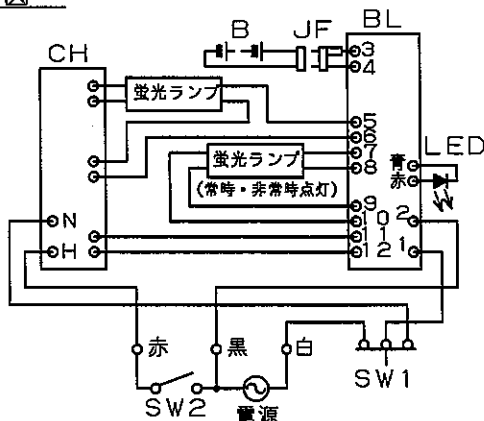
・表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
常時、蛍光ランプが点灯しない	蛍光ランプの寿命	ランプを交換する
	消灯スイッチOFF	スイッチをONする
非常点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	コネクタを接続する
	AC電源が通電状態となっていない	AC電源を通電状態とする
短時間しか点灯しない（３０分未満）	蓄電池の充電不足（保管時の自然放電や、施工時の放電など）	４８時間以上充電する
	蓄電池の寿命	蓄電池を交換する
充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	コネクタを接続する

器具定格・接続図

定格

起動方式		SWF			WX		
ランプ		AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V
FHF63EN-G	入力電流	――	0.63A	――	――	0.65A	――
	入力電力	――	123W	――	――	126W	――
	非常時光束	1960lm			1960lm		

接続図

部品の記号と名称

BL：ブロック
CH：安定器
JF：ヒューズ付コネクタ
B：Ni－MH蓄電池
SW1：点検スイッチ
SW2：常時消灯スイッチ
LED：充電モニター（発光ダイオード）

この器具には、ニッケル水素蓄電池を使用しております。
ニッケル水素電池はリサイクル可能な資源です。ニッケル水素電池の交換、及びご使用済の電池の破棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出しリサイクルにご協力ください。

パナソニック株式会社　ライティング機器ビジネスユニット　〒571-8686　大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）　0120-878-236（FAX）
N0509-071113